

### 3. 図書館を拠点とした教員との協働による学習支援に関する研究

第3研究グループ担当：木内公一郎委員（上田女子短期大学）  
松尾昇治委員（実践女子短期大学）  
湊 伸子委員（埼玉女子短期大学）  
小松泰信委員（大阪女学院短期大学）

#### ●発表要旨

ラーニングコモンズ、利用者教育など教員と協力をしながら、図書館において学習支援を行うことが広がりつつあります。

大学・短期大学図書館では、従来から教員との協力関係を築くことは、効果的な学習支援を実施する上で大変重要であるという認識がありました。さらに最近では基礎学力向上、情報リテラシー、アクティブラーニングの推奨など教育環境が大きく変化しています。

しかし短期大学図書館と教員の協働関係は現実にはどのようなになっているのか。協働するとはどのような関係を指すのか。また4年制大学のそれを単に模倣するだけでよいのか、多くの研究課題があります。

昨年実施したアンケート調査からは図書館における学習支援サービスにおいて、60%以上の図書館で「協働関係がある」との回答がありました。「協働がない」と回答した図書館でも関心が高いことが窺われます。

どのようにして教員と関係を築けばよいのか。悩みや疑問をお持ちの図書館職員の方も多いのではないのでしょうか。

この研究ではアンケート調査、訪問調査から得られた知見をもとにして、短期大学図書館における教員との協働の実態を明らかにすること、学習支援における協働モデルを構築し、学習支援サービス向上に資することを目的とします。

この研究報告をもとに参加者の皆様と議論を深めることができれば大変幸いです。